

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
1	垣生公民館は古くトイレは男女共通、3階建てでエレベーターもなく、駐車場もない。公民館を建て替えてほしい。	垣生公民館は耐震性能を満たしており、耐震化工事の必要もなく、建て替えの予定はありませんが、建物が3階建てであるため、エレベーターの設置を検討する必要があると考えています。設置スペースの確保や、構造上設置が可能か等の問題がありますので、今後、住民の方々の利用状況やご要望を踏まえ、大規模工事に合わせて検討したいと考えています。また、トイレの男女別化については、地元からの要望に基づき、予算の範囲内で対応していきたいと考えています。 駐車場については、厳しい財政の中、駐車場の土地を取得できる状況ではありませんので、ご理解いただきたいと思います。	教育委員会事務局
2	住民の合意形成とは何パーセントの賛成が必要か。	明確な数値はありませんが、地域の皆さんに関係するような重要な案件については、十分な説明と話し合いや協議を通じて、出来るだけ多くの皆さんにご理解いただける方法で結論を見出していきたいと考えています。	市民部
3	県道交差点から垣生小学校までの歩道、洗地川の橋のところだけ狭く歩くのも自転車も危険。	2か所とも県道のため、前回のタウンミーティングのあと、ご意見を愛媛県中予地方局建設部道路第2課にお伝えしました。このほど確認したところ、現時点で改修等の計画はないとの回答であったため、改めて要望内容をお伝えしました。	都市整備部
4	通学路の危険箇所を調査したあと、危険箇所について市はどのように対応するのか。	松山市教育委員会では子どもたちが安全、安心して学校に通えるよう、昨年夏、地域・学校・PTA、警察、国、県、市の道路管理者等で市内の通学路の危険箇所295箇所の緊急合同点検を行い、交差点や路側帯のカラー化、横断歩道の設置、防護柵の設置等、実施可能な箇所から安全対策を実施し、平成25年7月31日までに109箇所の対策を実施しています。危険箇所の対応については学校ごとに市のホームページでお知らせしていますので、ご覧ください。	教育委員会事務局
5	住吉神社前通学路は水はけが悪く、川からの逆流もあり、水がたまる。対策を検討してほしい。	住吉神社前の浸水の原因となっている三反地川については、これまでも護岸のかさ上げ工事やバイパス水路工事、水路内の土砂撤去等の様々な対応を行い、浸水の軽減を図ってきましたが、完全に解消していません。そのため、前回、ご意見を頂いた住吉神社前通学路の浸水については、ポンプ設置工事を予定し、来年の梅雨時期までの完成を目指しています。また、パルティフジ垣生周辺については、抜本的な対策が必要となるため、現在、検討を行っています。	下水道部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
6	通学路の横断歩道に横断旗がないところがあるが、設置は可能か。	ご相談の横断歩道については、松山西交通安全協会により横断旗が設置され、安全対策が実施されました。 このほか、交差点等で対策が必要と思われる危険箇所等がありましたら、ご相談ください。	都市整備部
7	垣生地区は子どもが増えている。児童館の設置はできるか。	松山市では、子どもたちが遊びを通じ、心とからだを豊かにすることを目的として、中央児童センターをはじめ、市内7か所に児童センター・児童館を設置しています。 児童館は、地区ごとに設置するのではなく、人口など各地域のバランスを考慮しながら東西南北の方面ごとに核となる施設を設け、近隣地域をカバーする形で整備しています。 後期まつやま子育てゆめプランでは、さらに1箇所の整備を計画しており、今後、地域の均衡を踏まえ、設置箇所を選定したいと考えています。 垣生地区を含む旧松山市の西部エリアには、味生児童館を設置しています。市内には近隣の児童館からの距離が垣生地区よりも遠距離となっている地区も多いことから、現時点では、垣生地区内に児童館設置は困難ではないかと考えています。 今後は「子ども・子育て三法」の状況や財政措置の状況等を見まもりながら、児童館の新たな設置と合わせて子どもの遊び場づくりについても検討していきたいと考えています。	保健福祉部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
8	<p>垣生地区は標高が低く高台もなく津波災害に対して避難が難しい。地域でもできることはやっているが、津波避難ビルのような高い建物を建ててほしい。</p> <p>今、津波が来たときにどこに逃げたらいいのか、どういう避難行動とったらいいのか、教えてほしい。</p>	<p>平成25年6月10日に県が公表した被害想定調査報告での南海トラフ巨大地震の場合、松山市の最大震度は7、津波最大高は興居島の由良港で3.9m、津波の第1波が到達するまで115分程度と予想されていますので、まずは、避難を優先し津波が及ぶ恐れのない場所に避難してください。</p> <p>市では自主防災組織と連携して、標高表示板の設置を進めています。また、市のホームページでも、任意の地点の標高を確認することができますので参考にさせていただき災害発生時の、警報等発令に合わせて避難ができるよう、避難場所・避難経路等の確認などを日頃から行っていただきたいと思います。</p> <p>津波タワーのような建物を建設することは困難ですが、現在、修正中の地域防災計画の中で、災害時要援護者などの緊急の一時避難場所として、津波避難ビル等の指定なども視野に入れ、検討したいと考えています。</p> <p>また、地域防災計画の修正を踏まえ、防災マップのリニューアルも予定しています。</p>	総合政策部
9	<p>津波の避難について、松山外環状線に階段をつけていただくというのはどうだろうか。</p>	<p>松山外環状線の自動車専用道路（高架部分）は、国土交通省の管轄ですので、ご意見をお伝えしたところ、「愛媛県において見直し・発表がなされた最新の津波浸水想定図によると、松山外環状道路の周辺は津波による浸水を受けない地区となっているため、自動車専用道路部への避難階段を設置する計画はありません。」との回答をいただいています。</p>	都市整備部
10	<p>災害情報、避難の放送が聞こえなかったら意味がない。海の近くでは風が吹くと放送が聞こえない。言葉ではなく、音で発信することを考えてはどうか。</p>	<p>垣生地区では、デジタル防災行政無線の整備を平成25年度に予定しています。放送の聞こえ具合について、この中で、場所の再確認及び、機器の調整等によって対応したいと考えています。</p> <p>新しい防災行政無線では、音声案内前に警報内容ごとのサイレン等が流れる仕組みになっています。また、放送内容が分からなかった場合やよく聞こえなかったときには、テレホンガイドで防災行政無線の放送を再確認することができます。</p> <p>このほか、テレビ・ラジオ等での放送、エリアメール、広報車両などによる情報提供を行います。</p>	総合政策部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
11	支所に保健師が常駐していれば健康意欲も高まり健康増進につながるのではないかと。	現在、保健所と3か所の保健センター及び関係各課に保健師を配置しています。保健師の配置については、中核市への移行の際、地域保健対策推進の拠点づくりのために見直したもので、現時点で各支所への保健師の常駐は困難です。 なお、保健師による健康相談は、保健所や各保健センター分室で電話や来所相談を実施しているほか、いよてつ高島屋等においても健康相談を実施しており、今後も継続して健康相談を実施していきます。	保健福祉部
12	タウンミーティングの質疑応答などを市のホームページに掲載してほしい。	タウンミーティングは、情報の公開を原則に実施しており、各地区の議事録やご意見等に対する市としての対応状況については、広報紙で概要をお伝えするほか、市ホームページに詳細を掲載していますのでご参照ください。	市民部
13	入院しても3カ月で退院させられたらもどに戻ってしまう。なぜ、3カ月しか置いてもらえないのか。	病院のベッドは、手術や集中的な治療が必要とされる急性期の患者もしくは比較的短い入院の患者が利用する一般病床と、長期に渡り療養を必要とする患者もしくはリハビリや在宅医療に向けた治療を行う患者が利用する療養病床があります。 入院されてから自宅に戻るまでの流れは、病状に合わせて、適切な医療を受ける医療連携という仕組みになっており、入院当初は必要な治療を行い、状態が安定する3カ月程度は一般病床に入院し、容態が安定またはリハビリ等を継続して必要とされる状態になると、療養病床に転院しその後退院するという流れになっています。	保健福祉部
14	鍵谷祭の補助金を打ち切らないようにお願いしたい。 伊予絃の啓発や振興の支援をお願いします。 伊予絃を有形文化財にするため運動しているがなかなか前に進まない、県、市の力添えをお願いしたい。	鍵谷祭に対する支援については、今後も継続していきたいと考えています。 また、伊予絃の有形文化財への指定・登録については、所有者の伊予かすり会館との定期的な協議を文化庁調査官、文化財保護審議会委員も交えて行っています。今後も指定・登録に向けた調査研究、また、伊予絃の普及・啓発について、引き続き活動を継続していきます。	産業経済部 教育委員会 事務局